



水質検査13項目



基本コース

一般細菌

一般細菌が多く見られた場合、病原生物に汚染されている可能性があります。

大腸菌

大腸菌を含む水は、糞便性の病原菌に汚染されている可能性があります。

亜硝酸態窒素

窒素肥料、腐敗した動植物、生活排水、工場排水に由来する有機窒素化合物の分解によって生成されます。

硝酸態窒素及び 亜硝酸態窒素

自然界に広く存在しており、窒素肥料、腐敗した動植物、生活排水、下水に多く含まれています。多く含まれると、幼児において体内で硝酸態窒素が亜硝酸態窒素に還元され、メトヘモグロビン血症を起こすことがあります。

鉄及びその化合物

河川水や地下水中に濁度に相応して含まれ、多く含む場合は異臭味や、洗濯物等を赤褐色に着色する原因となります。配管の老朽により検出される場合もあります。

塩化物イオン

地質、下水、家庭排水、工場排水及びし尿等の混入により検出され、多く含まれると味覚を損ないます。

カルシウム、 マグネシウム等 (硬度)

硬度とはカルシウムとマグネシウムの合計量をいい、主として地質によるものです。硬度が高いと石鹸の泡立ちを悪くします。

有機物 (全有機炭素 (TOC)の量)

水中の有機物量を、含まれる炭素の量で示すものです。

水素イオン濃度 (pH)

酸・アルカリの液性を示すもので0から14の数値で表されます。7は中性を表し、これより値が大きくなるほどアルカリ性が、これより値が小さくなるほど酸性が強くなります。

味

水の味は、地質又は海水、工場排水、化学薬品等の混入及び藻類等生物の繁殖に起因します。

臭気

水の臭気は、化学物質による汚染、藻類の繁殖、下水の混入及び地質等に起因します。

色度

水についている色の程度を示すもので、基準値以下であれば、ほぼ無色な水です。

濁度

水の濁りの程度を示すもので、基準値以下であれば、ほぼ透明な水です。